

5.6 東京2020オリンピック聖火リレー

東京1964大会から57年を経て、いよいよ“復興五輪”が開催されます。熊本地震から5年。「希望の道をつなごう。」をコンセプトに、聖火ランナーが、南阿蘇村を力強く走り、希望の道を照らし出します。

当日は、聖火リレー広報車両による応援グッズの配布やパフォーマンス、ゴール地ではミニセレブレーションも予定されています。沿道での応援で聖火リレーを盛り上げましょう!!

ランナーインタビュー

昨年度から新たに2人のランナーが選出(スポンサー枠)されました。リレーに対しての意気込みとともに紹介します。



高瀬 大輔さん(立野駅)

ニコニコ屋(ニコニコ饅頭)4代目
初代、立野わかもん会の会長。被災地立野の復旧・復興のために頑張ります。

聖火リレーのランナーという重大な役割を任せていただくことを最初に聞いた時は不安に感じることもありました。今は被災地の代表として地域を元気付けるとともに、村を応援していただいた皆さまに「南阿蘇村・立野は元気です!!」と伝えられるような走りをしたいと思っています。



河津 謙二さん(加勢)

地獄温泉青風荘 副社長
地獄温泉の復興に向けて日々奮闘中。経営から清掃までこなす何でも屋さん。

聖火リレーランナーという形でオリンピックに参加する機会を与えていただき光栄です。

地震で大きな被害を受けた「地獄温泉」をご心配いただき、復興の手助けをしていただいた皆さまに「地獄温泉は頑張っています!!」と走ることで表現したいです。

昨年紹介した南阿蘇村ゆかりの聖火ランナーの皆さんを再紹介します(順不同)。

浅尾 比呂加さん(第五駐在)、徳永 知花さん(白川)、中尾 有沙さん(都道府県にゆかりのあるアスリートであるPRランナー枠、立野出身)、宮田 鉄平さん(喜多)、以下、東海大学の皆さん(最大10人のメンバーで構成されたグループランナー枠)(順不同) 中山 魁仁さん、中川 啓也さん、西野 駆也さん、河井 大明さん、梁池 美歩さん、大西 翔平さん、永田 陸さん、津田 航士郎さん、永野 智大さん、中内 拓海さん

詳しくは「広報みなみあそ2020年4月号」18・19ページをご覧ください。



広報みなみあそ
前年特集ページ

※ゆるっとバスをご利用の皆さんへ

当日は聖火リレー開催のため「ゆるっとバス」の立石、立野病院裏、立野病院前、西栃木バス停が午前10時～正午まで通行することができません。長陽大橋ルートを利用しての運行になります。

詳しくは産交バス(株)高森営業所 TEL(62) 0515までお問い合わせください。